

中頭指導行政の基本方針 重点目標

最多・最大の最高を追求する中頭教育の創造 ~地域に根ざし、共に子供の育ちを保障する魅力ある学校づくり~

育成をめざす資質・能力
○実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」の習得
○未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」の育成
○学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」の涵養

重点事項 「わったーわらび」の学力保障と成長保障

長期目標：持続可能な社会の創り手となる幼児児童生徒の育成

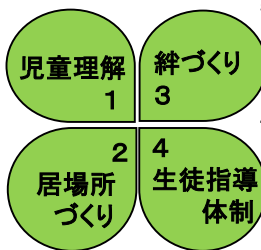
総括目標：幼児児童生徒一人一人に「生きる力」の基盤となる新しい時代をつくるために必要とされる資質・能力を育む。

- 基本方針
1 児童生徒理解の一層の深化
2 学んだことの意義や価値観を実感できるような肯定的な見取りや関わり
3 生徒指導の4つのポイントを生かした授業の実践
4 「教える」の視点から子どもの「学び・育ち」の視点へ
5 成果目標の評価から診断・アセスメントの評価へ

- 取組事項
①「学力向上推進プロジェクトII」の方策の具現化を図る。
②多様な児童生徒の実態把握や意識調査をもとに、一人一人のよさと可能性を伸長する。
③信頼関係(絆)を基盤にした、不登校・いじめ等問題行動の未然防止、早期発見・早期解決に取組む。
④チーム対応、各種専門機関との連携
⑤生徒指導年間サイクル(×3)を生かした組織的実践

学校の取組

「規範意識」と「自己指導能力」を育むはたらきかけ!!



- 1 児童理解(傾聴と受容)
○個人、集団状況の把握アセスメント
○ガイダンスとカウンセリング機能の充実
○校内研修の充実
2 子供の居場所づくり
生徒指導4つのポイントを生かした「わかる授業」の充実(自己存在の感受・共感的な人間関係の育成・自己決定の場の提供・安全・安心な風土の醸成)

- 3 絆づくりを
見据えた集団づくり
○支持的風土
○児童会・生徒会活動
○集団力を生かす
4 生徒指導体制(チームとしての学校)
○生徒指導、教育相談、いじめ防止委員会等の機能化
○日常的な報告・連絡・相談・連携・評価
○家庭・地域・関係機関と連携・協働

令和4年度の状況

- 【令和4年度の成果及び課題】
○校内いじめ防止委員会設置と開催
○いじめに対する積極的な認知と解消
○SC・SSW・関係支援員等の効果的な活用
・情報共有、連携の充実
○「魅力ある学校づくり」への取組
・児童会・生徒会の充実
▲不登校児童生徒数の増加(12月現在)
前年比480名増
○新規不登校数の減少(12月現在)
前年度比:小学校4.2ポイント増
中学校5.6ポイント増
▲学校間差(不登校・いじめ対応、組織体制、生徒会・児童会取組)への対応

地域の取組

- 青少年健全育成の日奨励
○放課後子ども教室推進事業
○地域学校協働活動推進事業
○CGG運動
○体験学習等への連携・協力

学校の活性化に 効果の期待できる取組

- 1 校長講話(めざす姿の共有)
2 指導案作成と授業実践
3 授業を補完する取組
4 五者会等へ学校事務職員が参加
5 学校評価の分析・活用
6 校長による授業参観と助言
7 評価システム面談にてめざす姿等の確認
8 校内教育支援委員会の充実

国・県の施策

- 学習指導要領(平成29年)
○小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について(通知)(平成31年)
○生徒指導要領(令和4年12月)
○新・沖縄県21世紀ビジョン基本計画(令和4年5月15日)
○沖縄県教育振興基本計画(令和4年度～令和13年度)
○学校教育における指導の努力点(令和5年度～令和9年度)
○沖縄県学力向上推進5か年プランプロジェクトII(令和2年度～令和6年度)
○「問い」が生まれる授業サポートガイド(沖縄県教育委員会)
○不登校児童生徒への支援の手引き

家庭の取組

- 規則正しい生活リズムの確立
○スマホ等の利用ルールづくり
○学習習慣の確立
○ファミリー読書の推進

○教師の「3つの視座」に基づく教育の推進

- 第1視座 組織的な聞くことのしつけ
第2視座 主体的な学びづくり
子供のエネルギーを活用した活動づくり
第3視座 子供の自分の信頼を高める「勇気づけ」

質の高い授業改善につながる生徒指導

Table with 5 columns: 方策 (Strategy), 視点1 (Viewpoint 1), 視点2 (Viewpoint 2), 視点3 (Viewpoint 3), ツール (Tools), 生徒指導に係る研修・訪問 (Training/Visits). Rows include '日常化する【質的授業改善】', '支える【発達の支援】', '見通す【学校組織マネジメント】', 'つなぐ【学校・家庭・地域連携】'.

学び合う教職員の資質・能力向上

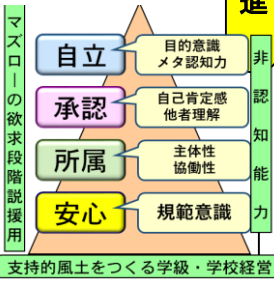
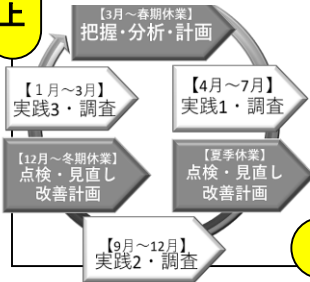
チーム学校「つづくり」の推進

生徒指導年間サイクル×3

- 1サイクル 3月～春休み 実態把握・課題の分析・目標設定及び各種指導計画の作成・共有
2サイクル 7月～8月 各種調査データに基づいた分析と改善策の検討・取組の修正
3サイクル 12月～冬休み 各種データに基づいた分析と改善策の検討・取組の修正

カリキュラム・マネジメントを生かした自律的学校経営の推進

— 社会に開かれた教育課程の実現 —



Bottom section with four boxes: ① しっかり教える (Teach firmly), ② じっくり考え、させてみる (Think slowly, let them try), ③ たっぷり価値つける (Add value), ④ 評価 (Evaluation).

- ① 統一 発達段階に応じて学級経営や教科経営の内容・方法を統一し、校内で組織的に進める
② 徹底 評価と指導・支援を繰り返して定着するまであきらめない
③ 運動 学校におけるすべての指導を運動させ、一貫した方針による授業を実践する
④ 評価 取り組みの進捗状況を定期的に点検・評価し、課題については新たな改善策を講じる